

キトンボ

Sympetrum croceolum Selys

トンボ目 トンボ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

県内の平地～低山帯のため池などに生息し、金沢付近でも珍しくなかったが、近年は産地、個体数とも著しく減少している。

形態

腹長21～29mm、後翅長25～32mm。体も翅の大部分も橙黄色で頑丈な体形をしたトンボ。

国内分布

北海道、本州、四国、九州に分布するが少ない。

県内分布

加賀市、白山市相川、志賀町（久喜、田原）、輪島市門前、能登町、珠洲市。

生態

平地～丘陵の林間の池沼に育ち、7月に羽化して、成熟虫は10～11月に活動する。オスは抽水植物にとまったり、水面を飛びまわったりしているが、夕方が近づくと池から離れ、日当りの樹木に静止する。

生息地の条件

林間や山際の植生の豊かな池沼。

生存の危機

安定した古いため池がコンクリートや防水シート張りに変ったり、水抜き後に放置されたり、道路建設などで消滅する。摂食空間である林野の汚染なども影響を及ぼす。（A、B）

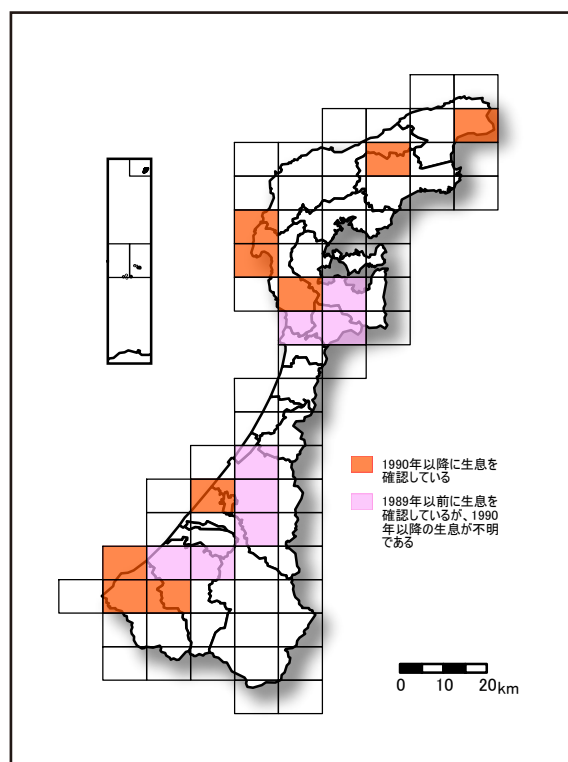
参考文献

武藤 明 1999. 石川県のトンボ相の変遷：1957年との比較. とっくりばち, (66) : 2-7.

武藤 明 2006. 石川県の蜻蛉目. とっくりばち, (74) : 7-19.



写真提供者：富沢章



県内の分布